

参加無料 / 事前申込不要

第2回



臨床腫瘍セミナー



【日時】 平成29年11月28日（火） 18時～19時
【場所】 福島県立医科大学 11号館 第2臨床講義室

演 題

『乳がん検診の現状と高濃度乳房への対応』

講 師

東北医科薬科大学 医学部
乳腺・内分泌外科 教授

鈴木昭彦 先生



【プロフィール】

宮城県亘理郡亘理町出身 / 宮城県仙台第一高等学校卒業

1992年 東北大学医学部卒業

1992年～1995年 福島市大原総合病院にて外科研修

1995年 東北大学医学部 第2外科入局

2000年 東北大学大学院医学系研究科 卒業（医学博士）

2000年～2003年 米国コロンビア大学留学（病理学 Fellow）

2003年5月 東北大学大学院医学系研究科腫瘍外科 医員

2003年10月 東北大学大学院医学系研究科腫瘍外科（乳腺・内分泌外科）助手 [2008年4月] 同 講師

2009年4月 八戸市立市民病院 乳腺外科部長

2011年4月 東北大学病院乳腺内分泌外科 講師

2013年7月 東北大学大学院 先端画像・ナノ医科学寄附講座 准教授

2017年4月 東北医科薬科大学 乳腺内分泌外科 教授

【資格等】 日本外科学会専門医 / 日本乳癌学会専門医 / 日本乳癌検診学会評議員



【講演要旨】

日本人の2人に1人は一生涯のうちに一回はがんになると言われ、女性の罹患するがんで一番多いのが乳がんです。乳がんは発見が早期であればあるほど生存率が向上し、一次予防としての検診の役割は大きいがんです。検診の重要性がさげられる一方で、マンモグラフィでは診断が難しい高濃度乳房の存在もマスコミなどで取り上げられるようになりました。今回は乳がん検診の現状と高濃度乳房への対応についてお話させていただきます。

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp

【次回予定】 平成29年12月19日（火） 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
（講師） 理化学研究所 統合生命医科学研究センター ゲノムシーケンス解析研究チーム 中川英刀先生